

# 平成28年度 事務事業評価表

事業No. 37

記入日 平成 29 年 6 月 30 日

記入者 氏名 西田 一

## 1 事務事業の位置付け <Plan ①>

重点	事務事業名	担当課室名	新規・継続	事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分
	スポーツ振興事業	教育委員会事務局	新規	平成 年度	平成 年度	ソフト事業(義務・任意)
			継続	平成24年度以前	継続予定	
まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付け			第4次総合計画 施策の大綱の位置付け			
基本目標			政策	政策1. 豊かな未来にいのちが輝くまちづくり		
講ずべき施策			基本施策	基本施策2. 学びあい生きがいがある地域社会の構築		
主要な取り組み			施策	施策2. 社会体育と生涯スポーツの推進		

## 2 事務事業の概要 <Plan ②>

対象 (誰・何を対象として)	町民
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	スポーツ教室や健康ウォーキング等の参加により、町民の体力向上、健康増進を図ります。
手段 (対象を意図する状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	スポーツ教室を6種目(レディースクール、子ども駅伝教室、ルディックウォーキング、かみ教室、児童の基礎体力向上教室、太極拳)48回開催します。町民体育祭や毎月3回(3の付く日)健康ウォーキングを実施します。
役割分担 (まちづくり基本条例に基づき、個人、地域とどのような役割分担をして事業推進したか)	個人レベル ●自らの体力向上、健康増進にむけて意識的にスポーツに親しみます。 町内会レベル ●軽スポーツやウォーキングを誘い合いながら取り組み、地域住民どうしの交流を図ります。 自治協レベル ●地域間で連携し、スポーツを通じて、多世代や地域住民同士が交流できる環境を整えます。

## 3 年度別計画と事業費 <Do ①>

		事業期間：平成28年度～平成32年度				
	単位	H28(決算)	H29(予算)	H30(見込)	H31(見込)	H32(見込)
総費用		6,965	8,923	8,923	8,923	8,923
費用内訳	直接事業費	千円 4,035	5,993	5,993	5,993	5,993
	人件費	2,930	2,930	2,930	2,930	2,930
	(関与人数)	人 0.37	0.37	0.37	0.37	0.37
財源内訳	特定財源					
	国・県支出金					
	地方債					
	その他					
一般財源	千円	6,965	8,923	8,923	8,923	8,923
指標1単位あたり費用	千円	6,965	8,923	8,923	8,923	8,923
	指標値②(活動参加者数)	人 3,263	3,760	3,760	3,760	3,760
	①÷②	千円 2	2	2	2	2
全体計画	軽スポーツ等の普及を通して、町民の体力向上、健康増進をめざす。	教室事業の実施 社会体育団体への補助 町民体育祭の開催	教室事業の実施 社会体育団体への補助 町民体育祭の開催	教室事業の実施 社会体育団体への補助 町民体育祭の開催	教室事業の実施 社会体育団体への補助 町民体育祭の開催	教室事業の実施 社会体育団体への補助 町民体育祭の開催

## 4 事業の評価指標 <Do ②>

(上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	基準値 H27年度	H28	H29	H30	H31	H32
スポーツ教室参加者数	人	850	900 953	960	960	960	960
町民体育祭	人	400	400 420	500	500	500	500
ウォーキング参加者数	人	2122	2,200 1,890	2,300	2,300	2,300	2,300

## 5 事務事業の事後評価 <Check>

評価の視点	項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	継続実施の必要性 (事業廃止による影響はあるか、事業の緊急性や町民のニーズはあるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がややある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	町関与の妥当性 (町が主体で取組むべき事業か。)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がややある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	役割分担の適切性 (「個人」「地域」「町内会自治会レベル」「地域：自治協議会レベル」が担える部分はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 検討の余地がややある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	目標・意図の達成度 (評価指標目標値やサービス水準の妥当性を勘案し、意図をどの程度達成しているか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	2
	手段の有効性 (現状の手段が最も有効か、他の手段により更に成果向上が図れないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	他団体との連携 (国・県・他市町村、企業、団体等との連携、活用により更に成果向上が図れないか)	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	業務の効率化 (業務手順、内容に見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	投入コストの適切性 (投入するコスト(予算・人件費)は適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	財源の確保 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

## 6 改善及び事務事業の方向性 <Action>

評価者 課室長氏名 森脇 登志男

総合評価と今後の方向性	妥当性					業務改善についての今後の方向性 スポーツ推進委員会では、ウォーキングの参加者は定着したため、新たに普及させる軽スポーツについて検討を行います。また、アンケート調査を実施しウォーキングの参加者の健康状態について成果を把握します。体力向上委員会において、社会体育関係団体の調整を行い、町民の体力維持・向上を図るため、誰もがスポーツに親しめる町民体育祭を開催します。	
		0点	1点	2点	3点		
	有効性	いずれか0点	D	C	C		C
		いずれか1点	C	C	C		C
	効率性	合計4点	C	C	B		B
		合計5点	C	B	B		A
		合計6点	C	B	A		A
	A 業務の内容は適切である						
	前年度評価	B		前々年度評価 B			
	今後の方向性	投入コスト					成果の方向性 体力向上や健康増進のため、町民体育祭、ウォーキング事業、スポーツ教室を推進していくこと。
		皆減	縮小	維持	拡大		
向上			C	B	A		
維持			E	D			
縮小			F				
休廃止	G						
D 成果・費用とも維持 =					現状維持	前年施策評価方針 B 成果向上・費用維持	

# 平成28年度 事務事業評価表

事業No. 38

記入日 平成 29 年 6 月 30 日

記入者 氏名 西田 一

## 1 事務事業の位置付け <Plan ①>

重点	事務事業名	担当課室名	新規・継続	事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分
	運動公園施設維持管理事業	教育委員会事務局	新規	平成 年度	平成 年度	ソフト事業(義務・任意)
			継続	平成24年度以前	継続予定	
まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付け			第4次総合計画 施策の大綱の位置付け			
基本目標			政策	政策1. 豊かな未来にいのちが輝くまちづくり		
講ずべき施策			基本施策	基本施策2. 学びあい生きがいがある地域社会の構築		
主要な取り組み			施策	施策2. 社会体育と生涯スポーツの推進		

## 2 事務事業の概要 <Plan ②>

対象 (誰・何を対象として)	町民
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	当該施設を利用して、町民の体力向上、健康増進を図ります。
手段 (対象を意図する状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	社会体育の拠点施設として、計画的に施設の改修、改善を行い、安心で安全な施設の提供します。施設の運営については、NPO法人が指定管理を行い、町は施設の維持補修を行います。
役割分担 (まちづくり基本条例に基づき、個人、地域とどのような役割分担をして事業推進したか)	個人レベル 社会体育の拠点施設として積極的に活用します。また、施設利用にむけた要望を出します。 町内会レベル 社会体育の拠点施設として積極的に活用します。また、施設利用にむけた要望を出します。 自治協レベル 社会体育の拠点施設として積極的に活用します。また、施設利用にむけた要望を出します。

## 3 年度別計画と事業費 <Do ①>

		事業期間：平成 28 年度～平成 32 年度				
	単位	H28(決算)	H29(予算)	H30(見込)	H31(見込)	H32(見込)
総費用		39,214	39,760	39,760	92,930	92,930
費用内訳	直接事業費	千円 36,284	36,830	36,830	90,000	90,000
	人件費	2,930	2,930	2,930	2,930	2,930
	(関与人数)	人 0.37	0.37	0.37	0.37	0.37
財源内訳	特定財源				25,000	25,000
	国・県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	千円 39,214	39,760	39,760	67,930	67,930
指標1単位あたり費用	千円	39,214	39,760	39,760	67,390	67,930
	指標値②(施設利用者)	人 100,016	100,000	100,000	100,000	100,000
	①÷②	千円 0	0	0	1	1
全体計画	吉野運動公園を健全に管理運営	施設の運営及び維持管理 長寿命化計画の見直し	施設の運営及び維持管理	施設の運営及び維持管理 長寿命化計画に沿った施設の改修	施設の運営及び維持管理 長寿命化計画に沿った施設の改修	施設の運営及び維持管理 長寿命化計画に沿った施設の改修

## 4 事業の評価指標 <Do ②>

(上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	基準値 H27年度	H28	H29	H30	H31	H32
運動公園利用者数	人	100016	89,100 89,691	89,400	89,700	90,000	90,000

## 5 事務事業の事後評価 <Check>

評価の視点	項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	継続実施の必要性 (事業廃止による影響はあるか、事業の緊急性や町民のニーズはあるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がややある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	町関与の妥当性 (町が主体で取組むべき事業か。)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がややある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	役割分担の適切性 (「個人」「地域：町内会自治会レベル」「地域：自治協議会レベル」が担える部分はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 検討の余地がややある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	目標・意図の達成度 (評価指標目標値やサービス水準の妥当性を勘案し、意図をどの程度達成しているか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	手段の有効性 (現状の手段が最も有効か、他の手段により更に成果向上が図れないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	他団体との連携 (国・県・他市町村、企業、団体等との連携、活用により更に成果向上が図れないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	業務の効率化 (業務手順、内容に見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	投入コストの適切性 (投入するコスト(予算・人件費)は適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	財源の確保 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

## 6 改善及び事務事業の方向性 <Action>

評価者 課室長氏名 森脇 登志男

総合評価と今後の方向性	業務改善についての今後の方向性					平成29年度は、吉野運動公園長寿命化計画の見直しを行います。その計画に沿って施設の改修を行い、利用者にとって安心・安全な施設を維持していきます。																																						
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="4">妥当性</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>0点</th> <th>1点</th> <th>2点</th> <th>3点</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">有効性・効率性</td> <td>いずれか0点</td> <td>D</td> <td>C</td> <td>C</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>いずれか1点</td> <td>C</td> <td>C</td> <td>C</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>合計4点</td> <td>C</td> <td>C</td> <td>B</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>合計5点</td> <td>C</td> <td>B</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>合計6点</td> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </table>								妥当性						0点	1点	2点	3点	有効性・効率性	いずれか0点	D	C	C	C	いずれか1点	C	C	C	C	合計4点	C	C	B	B	合計5点	C	B	B	A	合計6点	C	B	A	A
			妥当性																																									
			0点	1点	2点		3点																																					
	有効性・効率性	いずれか0点	D	C	C		C																																					
		いずれか1点	C	C	C		C																																					
		合計4点	C	C	B		B																																					
		合計5点	C	B	B		A																																					
	合計6点	C	B	A	A																																							
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">業務の内容は適切である</th> </tr> <tr> <th>前年度評価</th> <th>前々年度評価</th> <th>B</th> <th>A</th> </tr> </table>								業務の内容は適切である		前年度評価	前々年度評価	B	A																														
		業務の内容は適切である																																										
前年度評価	前々年度評価	B	A																																									
<table border="1"> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="4">投入コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>皆減</th> <th>縮小</th> <th>維持</th> <th>拡大</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>E</td> <td>D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td>F</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>G</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							投入コスト						皆減	縮小	維持	拡大	成果	向上		C	B	A	維持		E	D		縮小		F			休廃止	G				<table border="1"> <tr> <th>成果の方向性</th> <th>コストの方向性(関与人員費含)</th> </tr> <tr> <td>施設の改修については、長寿命化計画を見直し年次計画に基づき、改修を行うこと。</td> <td>施設の改修費用については、社会資本整備交付金を活用すること。</td> </tr> </table>	成果の方向性	コストの方向性(関与人員費含)	施設の改修については、長寿命化計画を見直し年次計画に基づき、改修を行うこと。	施設の改修費用については、社会資本整備交付金を活用すること。		
		投入コスト																																										
		皆減	縮小	維持	拡大																																							
成果	向上		C	B	A																																							
	維持		E	D																																								
	縮小		F																																									
	休廃止	G																																										
成果の方向性	コストの方向性(関与人員費含)																																											
施設の改修については、長寿命化計画を見直し年次計画に基づき、改修を行うこと。	施設の改修費用については、社会資本整備交付金を活用すること。																																											
<table border="1"> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">A 成果向上・費用拡大 = 改善案(予算を増大してでも成果を上げる)</th> </tr> <tr> <th>前年施策評価方針</th> <th>E 成果維持・費用縮小</th> </tr> </table>							A 成果向上・費用拡大 = 改善案(予算を増大してでも成果を上げる)		前年施策評価方針	E 成果維持・費用縮小																																		
		A 成果向上・費用拡大 = 改善案(予算を増大してでも成果を上げる)																																										
前年施策評価方針	E 成果維持・費用縮小																																											

# 平成28年度 事務事業評価表

事業No. 39

記入日 平成 29 年 6 月 30 日

記入者 氏名 坂本 大輔

## 1 事務事業の位置付け <Plan ①>

重点	事務事業名	担当課室名	新規・継続	事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分
-	関西ワールドマスターズ誘致事業	教育委員会事務局	○ 新規 ○ 継続	平成 28 年度 平成 24年度以前	平成 33 年度 ○ 継続予定	ソフト事業(任意)
まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付け			第4次総合計画 施策の大綱の位置付け			
基本目標	基本目標Ⅳ新しいひとの流れをつくる		政策	政策1. 豊かな未来にいのちが輝くまちづくり		
講ずべき施策	③交流人口の拡大		基本施策	基本施策2. 学びあい生きがいもてる地域社会の構築		
主要な取り組み	吉野を多くの方に認知してもらうため、町内でのイベント開催を誘致します。		施策	施策2. 社会体育と生涯スポーツの推進		

## 2 事務事業の概要 <Plan ②>

対象 (誰・何を対象として)	町民
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	関西ワールドマスターズ カヌー競技を本町に誘致し、町民が大会にふれることによりスポーツに関心を持ち体力向上や健康増進を目指します。また、津風呂湖周辺の豊かな自然をアピールし観光施策の拡大、内外からの誘客を図ります。
手段 (対象を意図する状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	カヌー大会の誘致を目指した、カヌー協会と奈良県との連絡調整を行います。
役割分担 (まちづくり基本条例に基づき、個人、地域とどのような役割分担をして事業推進したか)	個人レベル 町内会レベル 自治協レベル

## 3 年度別計画と事業費 <Do ①>

事業期間：平成 28 年度～平成 32 年度

単位		H28(決算)	H29(予算)	H30(見込)	H31(見込)	H32(見込)
総費用		1,029	28,663	28,757	36,676	37,676
費用内訳	直接事業費	千円 0	4,906	5,000	5,000	6,000
	人件費	1,029	23,757	23,757	31,676	31,676
	(関与人数)	人 0.13	3.00	3.00	4.00	4.00
財源内訳	特定財源	千円				
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,029	28,663	28,757	36,676	37,676	
指標1単位あたり費用	①÷②					
全体計画	平成33年度のワールドマスターズ カヌー大会の開催に向けて準備を進めます。	・オーランド大会の視察 ・開催に向けての方針の策定 ・実行委員会の立ち上げ	・PR活動 ・実行委員会の開催 ・カヌー教室の開催	・PR活動 ・実行委員会の開催 ・カヌー教室の開催	・PR活動 ・実行委員会の開催 ・カヌー教室の開催 ・プレ大会の開催	

## 4 事業の評価指標 <Do ②>

(上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	基準値 H27年度	H28	H29	H30	H31	H33
カヌー大会誘致決定	競技		1 1				
町民の競技参加者数	人						30
交流人口	人						100

## 5 事務事業の事後評価 <Check>

評価の視点	項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
継続実施の必要性 (事業廃止による影響はあるか、事業の緊急性や町民のニーズはあるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	ワールドマスターズを開催するため、津風呂湖のPRも含め継続すべきです。	2
	<input type="checkbox"/> 検討の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
町関与の妥当性 (町が主体で取り組むべき事業か。)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	スポーツだけではなく、観光PRもあることから町が取り組むべき事業です。	2
	<input type="checkbox"/> 検討の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
役割分担の適切性 (「個人」「地域：町内会自治会レベル」「地域：自治協議会レベル」が担える部分はないか)	<input type="checkbox"/> 適正である	今後は、観光協会、ビジターズビューロー等と連携して進めていく必要があります。	3
	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
目標・意図の達成度 (評価指標目標値やサービス水準の妥当性を勘案し、意図をどの程度達成しているか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	平成33年にカヌー大会を町内で開催することを決定しました。	3
	<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った		
	<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った		
手段の有効性 (現状の手段が最も有効か、他の手段により更に成果向上が図れないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である	町が取り組むべき事業のため、職員により誘致をすることができました。	3
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
他団体との連携 (国・県・他市町村、企業、団体等との連携、活用により更に成果向上が図れないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である	奈良県カヌー協会と協議を行い、誘致をしました。今後は、大会開催に向けて企業との連携を強化します。実行委員会は、社会体育団体だけではなく他の団体にも協力を得ます。	3
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
業務の効率化 (業務手順、内容に見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である	誘致に向けて、奈良県カヌー協会と協議をしました。	3
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
投入コストの適切性 (投入するコスト(予算・人件費)は適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である	コストは適正でした。今後は、人件費が増加することが見込まれます。	3
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
財源の確保 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である	今後は、財源確保が課題です。	3
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

## 6 改善及び事務事業の方向性 <Action>

評価者 課室長氏名 森脇 登志男

総合評価と今後の方向性	妥当性					業務改善についての今後の方向性			
		0点	1点	2点	3点				
	有効性・効率性	いずれか0点	D	C	C	C	平成29年度中に、庁内で協議をして方針を策定します。各種団体と連携をして、実行委員会を立ち上げます。交流人口を増加するために、開催までに準備を進めます。		
	いずれか1点	C	C	C	C				
	合計4点	C	C	B	B				
	合計5点	C	B	B	A				
	合計6点	C	B	A	A				
<b>A</b> 業務の内容は適切である									
前年度評価		前々年度評価							
成果	投入コスト					成果の方向性	コストの方向性(関与人員費含)		
		皆減	縮小	維持	拡大				
	向上		C	B	A			早急に方針を策定すること。実行委員会を作り、他団体の意見を聞き大会開催に向けて連絡調整を図ること。事務局のみで進めるのではなく、他団体にも協力を得ながら進めること。補助金等がないか検討すること。	
	維持		E	D					
	縮小		F						
休廃止		G							
<b>A</b> 成果向上・費用拡大 = 改善案(予算を増大してでも成果を上げる)						前年施策評価方針			